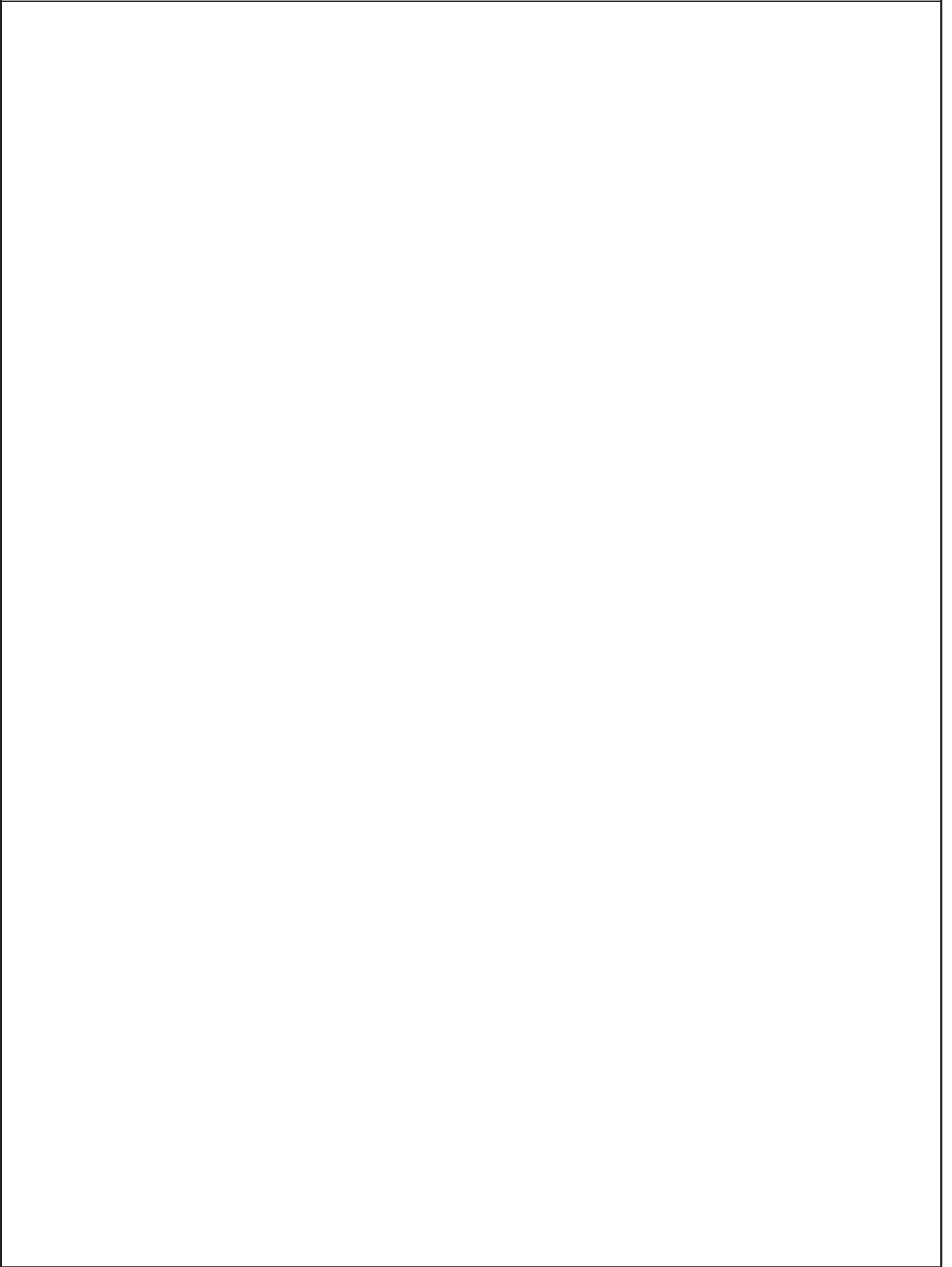


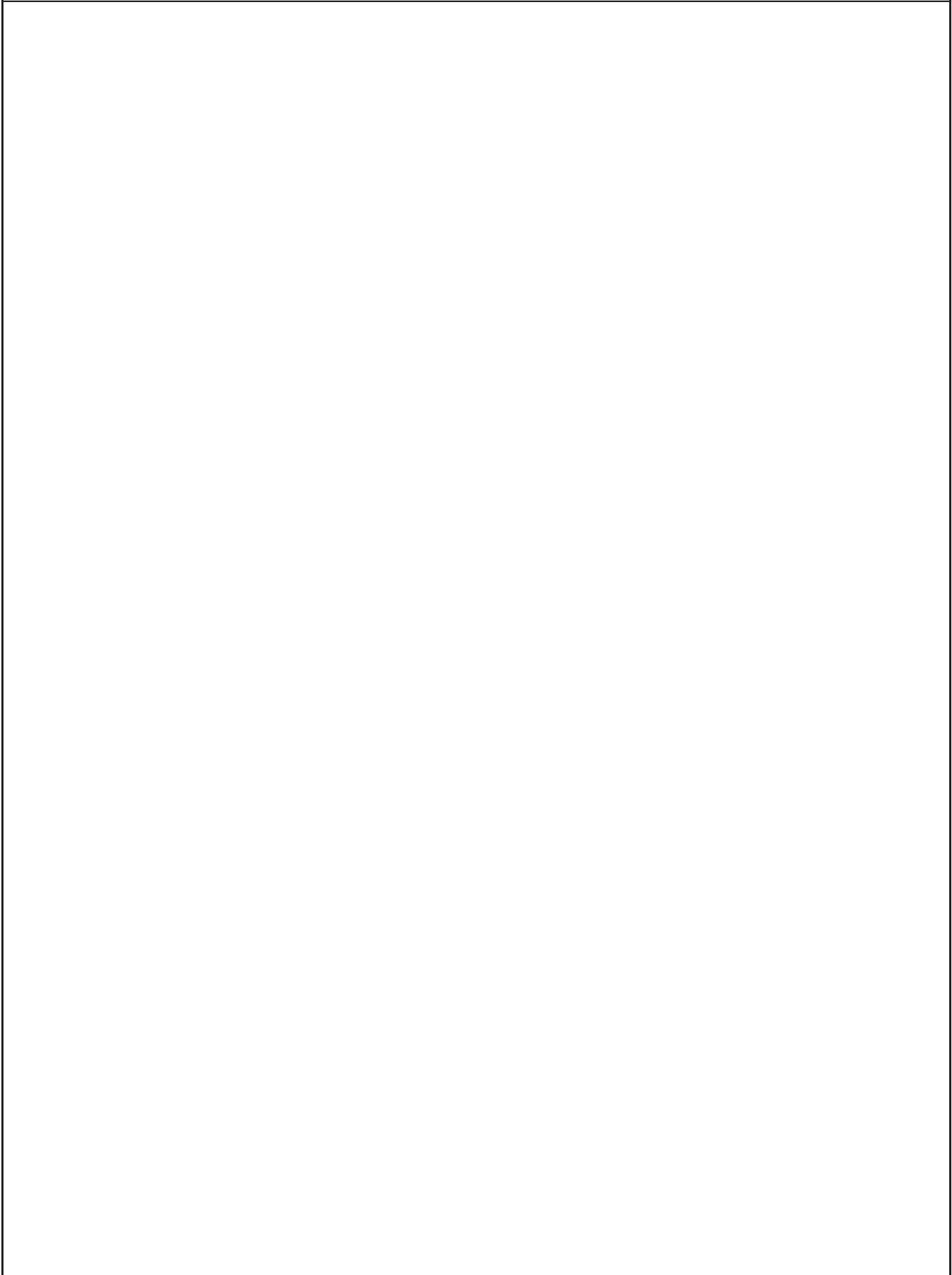
スーパーグローバル大学創成支援事業
中間評価調書

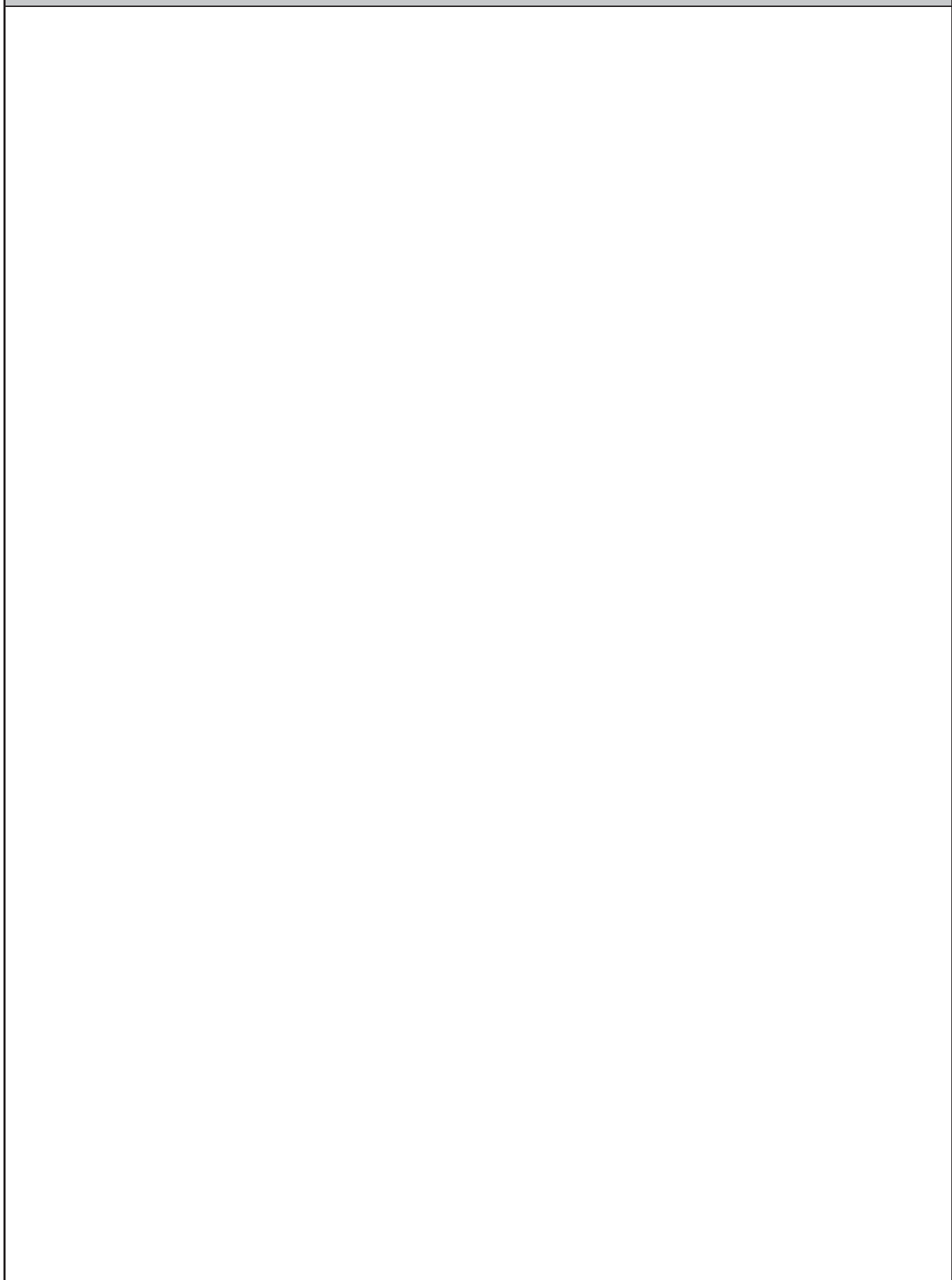
大学名				整理番号	
構想名					
代表者	ふりがな 氏名		所属・ 職名		
事業推進 代表者	ふりがな 氏名		所属・ 職名		
事業推進 責任者	ふりがな 氏名		所属・ 職名		
学部・ 研究科等名	学部数		研究科等数		
	(学部名)				
	(研究科等名)		全ての部局名を記入してください。		
参考資料 一覧	資料名			備考	
	1	複数年度分の報告書等を提出する場合は、「備考」欄に年度を必ず記入してください。なお、提出期間内に参考資料を提出することが難しい場合、その理由・提出可能時期を明記してください。			
	2				
	3				
事務担当者 連絡先	ふりがな 氏名		所属・ 職名	記入例： ○○○学部△△課・課長	
	電話番号				
	E-mail				

※中間評価調書の内容等について連絡のとれる事務担当者を記入してください（複数名の担当者がある場合でも代表者1名を記入してください）。
また、連絡先E-mailについては、複数人で確認が可能なメールアドレスを記入してください。

②工程表【1ページ】(構想調書からの転載)







⑦A 個別観点A-1（国際的評価の向上）及びA-2（国際的評価に関する教育・研究力）
概念図【1ページ】（構想調書からの転載）（タイプAのみ）

⑦B 個別観点B（大学の特性を踏まえた特徴）概念図【1ページ】（構想調書からの転載）
（タイプBのみ）

進捗状況の概要【1ページ】

※進捗状況の概要全体で1ページ以内

特筆すべき成果（グッドプラクティス）【1ページ】

※特筆すべき成果（グッドプラクティス）全体で1ページ以内

1. 取組状況

①構想の実施状況【10ページ以内】 構想の創造性、展開性等 (構想調書からの転載)	取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
<p>【本構想の目的】</p> <p>【本構想における取組概要】</p> <p>(構想調書からの転載)と記載のある箇所については、事務局にて構想調書の記載内容を仮転載しておりますが、構想調書の「本構想における取組」欄について「これまでの取組」欄を引用した作りになっている場合(例:「上記の・・・」等)や、参照ページ番号が含まれている場合も多く見られたため、転載内容を御確認の上、必要な補足等をお願いいたします。(ただし、構想調書の記載内容の変更は認められません。)</p> <p>※以下同様</p> <p>※構想の実施状況全体で10ページ以内</p>	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>取組の進捗状況について、具体的にわかりやすく記入してください。 なお、平成29年度の取組状況のうち、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成29年度の取組状況であることがわかるように記入してください。 ※以下同様</p> <p>※構想の実施状況全体で10ページ以内</p>	<p>左記を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※以下同様</p> <p>※構想の実施状況全体で10ページ以内</p>

1. 取組状況

②構想実現のための体制構築【6ページ以内】		
本構想における取組 (構想調書からの転載)	取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※構想実現のための体制構築全体で6ページ以内</p>	

1. 取組状況

本事業の実施計画【6ページ以内】	
年度別実施計画（構想調書からの転載）	取組の進捗状況
【平成26年度】 ※本事業の実施計画全体で6ページ以内	
【平成27年度】	
【平成28年度】	

年度別実施計画（構想調書からの転載）	これまでの取組状況・課題を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
【平成29年度】	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ※本事業の実施計画全体で6ページ以内 </div>
【平成30年度】	
【平成31年度】	
【平成32年度】	
【平成33年度】	
【平成34年度】	
【平成35年度】	

1. 取組状況

財政支援期間終了後について【2ページ以内】	
財政支援期間終了後の事業展開（構想調書からの転載）	財政支援期間終了後の事業展開に向けた資金計画
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>【今後の展望】</p>
	<p>※財政支援期間終了後について全体で2ページ以内</p>

1. 取組状況

③留意事項への対応【1ページ】	
留意事項（改善を要する点、留意すべき点） ※経費面を含む（審査結果表からの転載）	留意事項への対応状況
	【これまでの取組状況】
	【今後の展望】
	※留意事項への対応全体で1ページ以内

1. 取組状況

④国際的評価の向上（タイプAのみ）【5ページ以内】		
本構想における取組 （構想調書からの転載）	取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 （発展的な構想の見直しの方向性を含む）
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※国際的評価の向上について全体で5ページ以内（タイプAのみ）</p>	

1. 取組状況

⑤ 国際的評価に関する教育・研究力（国際的評価にて強みのある分野の有無）（タイプAのみ）【5ページ以内】		
本構想における取組 （構想調書からの転載）	取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 （発展的な構想の見直しの方向性を含む）
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※国際的評価に関する教育・研究力（国際的評価にて強みのある分野の有無） 全体で5ページ以内（タイプAのみ）</p>	

1. 取組状況

⑥大学の特性を踏まえた特徴（タイプBのみ）【10ページ以内】		
本構想における取組 （構想調書からの転載）	取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 （発展的な構想の見直しの方向性を含む）
	【これまでの取組状況】	
	【これまでの取組における課題】	
	※大学の特性を踏まえた特徴全体で10ページ以内（タイプBのみ）	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標											
1. 国際化関連 (1) 多様性 ① 教員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合【2 ページ以内】											
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)		平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)		
	実績値		実績値		実績値		実績値		目標値		
	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	
外国人教員等(A)	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	
うち外国籍教員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
うち外国の大学で学位を取得した日本人教員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
うち外国で通算1年以上3年未満の教育研究歴のある日本人教員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
うち外国で通算3年以上の教育研究歴のある日本人教員	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
全専任教員数(B)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況
<p>左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)</p>	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※教員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合全体で2 ページ以内</p>

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標											
1. 国際化関連 (1) 多様性 ② 職員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任職員等の割合【2 ページ以内】											
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)			
	実績値			目標値	実績値	実績値	目標値	目標値			
外国人職員等(A)	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人			
うち外国籍職員	人	人	人	人	人	人	人	人			
うち外国の大学で学位を取得した日本人職員	人	人	人	人	人	人	人	人			
うち外国で通算1年以上の職務・研修経験のある日本人職員	人	人	人	人	人	人	人	人			
全専任職員数(B)	人	人	人	人	人	人	人	人			
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
外国人職員のうち、外国の大学で学位を取得した日本人職員、外国で1年以上の職務・研修経験のある日本人職員について、それぞれの数と全専任職員数を記入する。											
<div style="border: 1px dashed green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください (形式: Excel ワークシートオブジェクト)</p> </div>											
本構想における取組 (構想調書からの転載)				目標の達成状況と取組の進捗状況				左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)			
				【これまでの取組状況】							
				【これまでの取組における課題】							
				<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; color: red;"> ※職員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任職員等の割合全体で2 ページ以内 </div>							

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標										
1. 国際化関連 (1) 多様性 ③ 教職員に占める女性の比率【2ページ以内】										
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)		
	実績値		実績値		実績値		目標値			
女性教員(A)	人	人	人	人	人	人	人	人		
全専任教員数(B)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %		
女性職員(C)	人	人	人	人	人	人	人	人		
全専任職員数(D)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人		
割合(C/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %		
女性教員、女性職員の数を記入する。										
本構想における取組 (構想調書からの転載)				目標の達成状況と取組の進捗状況				左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)		
【これまでの取組状況】				【これまでの取組における課題】				<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; color: red;"> ※教職員に占める女性の比率全体で2ページ以内 </div>		

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標

1. 国際化関連 (1) 多様性 ④ 全学生に占める外国人留学生の割合【3ページ以内】

1. 国際化関連 (1) 多様性 ④ 全学生に占める外国人留学生の割合

	平成25年度 (H25.5.1)		平成26年度 (H26.5.1)		平成27年度 (H27.5.1)		平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)		平成31年度 (H31.5.1)		平成35年度 (H35.5.1)	
	実績値		実績値		実績値		実績値		実績値		実績値		目標値	
	0人	人	0人	人	0人	人	0人	人	0人	(0人)	人	人	0人	人
	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
	実績値		実績値		実績値		実績値		実績値		実績値		目標値	
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成29年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)							
外国人留学生数(A) (うち女性)	0人	人	0人	人	0人	人	0人	人	0人	(0人)	人	人	0人	人
うち在留資格が「留学」の者 (うち女性)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
うち在留資格が「留学」以外の者 (うち女性)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
全学生数(B) (うち女性)	0人	人	0人	人	0人	人	0人	人	0人	人	0人	人	0人	人
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
外国人留学生数(C) (うち女性)	0人	人	0人	人	0人	人	0人	人	0人	(0人)	人	人	0人	人
うち在留資格が「留学」の者 (うち女性)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
うち在留資格が「留学」以外の者 (うち女性)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
全学生数(D) (うち女性)	0人	人	0人	人	0人	人	0人	人	0人	(0人)	人	人	0人	人
割合(C/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

外国人留学生のうち、在留資格が「留学」の数に加え、「留学」の在留資格を有さない短期留学生等の数を記入する。

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※全学生に占める外国人留学生の割合全体で3ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標

1. 国際化関連 (2) 流動性 ① 日本人学生に占める留学経験者の割合【3ページ以内】

1. 国際化関連 (2) 流動性 ① 日本人学生に占める留学経験者の割合

	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
	実績値			目標値	実績値	目標値	目標値
単位取得を伴う海外留学経験者数(A) (うち女性)	0人	0人	0人	0人	0人 (0人)	0人	0人
うち学部(B) (うち女性)	人	人	人	人	人	人	人
うち大学院(C) (うち女性)	人	人	人	人	人	人	人
全学生数(D) (うち女性)	0人	0人	0人	0人	0人 (0人)	0人	0人
うち学部(E) (うち女性)	人	人	人	人	人	人	人
うち大学院(F) (うち女性)	人	人	人	人	人	人	人
割合(A/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(B/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(C/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
教員の指導の下、3ヶ月以上研究派遣され た大学院生数(G)	人	人	人	人	人	人	人
割合(G/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

全学生数と、日本国籍を保有し正規課程に在籍する学生で、且つ、単位取得を伴う留学を経験した学生の数を記入する。留学期間は問わない。
また、大学院生について、教員の指導の下、3ヶ月以上の研究派遣された学生の数を記入する。単位取得の有無は問わない。

更新した成果指標データ集の該当
部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブ
ジェクト)

本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※日本人学生に占める留学経験者の割合全体で3ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標											
1. 国際化関連 (2) 流動性 ② 大学間協定に基づく交流数【3ページ以内】											
② 大学間協定に基づく交流数	更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください (形式: Excel ワークシートオブジェクト)	平成25年度 (通年)		平成26年度 (通年)		平成27年度 (通年)		平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	
		実績値		実績値		実績値		実績値		実績値	
		人数	#DIV/0! %	人数	#DIV/0! %	人数	#DIV/0! %	人数	#DIV/0! %	人数	#DIV/0! %
大学間協定に基づく派遣日本人学生数 (A) (うち女性)		0 人		0 人		0 人		0 人		0 人	
うち単位取得を伴う学部生数 (うち女性)		人		人		人		人		人	
うち単位取得を伴わない学部生数 (うち女性)		人		人		人		人		人	
うち単位取得を伴う大学院生数 (うち女性)		人		人		人		人		人	
うち単位取得を伴わない大学院生数 (うち女性)		人		人		人		人		人	
全学生数(B)		0 人		0 人		0 人		0 人		0 人	
割合(A/B)		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %	
大学間協定に基づく受入外国人留学生数 (C) (うち女性)		0 人		0 人		0 人		0 人		0 人	
うち単位取得を伴う学部生数 (うち女性)		人		人		人		人		人	
うち単位取得を伴わない学部生数 (うち女性)		人		人		人		人		人	
うち単位取得を伴う大学院生数 (うち女性)		人		人		人		人		人	
うち単位取得を伴わない大学院生数 (うち女性)		人		人		人		人		人	
全学生数(D)		0 人		0 人		0 人		0 人		0 人	
割合(C/D)		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %		#DIV/0! %	

外国の大学との連携・交流協定に基づき交流する／した学生数を記入する。
また、日本人学生及び外国人留学生について、単位取得を伴う人数と、伴わない人数を学部生・大学院生別に記入する。

本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※大学間協定に基づく交流数全体で3ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標			
1. 国際化関連 (3) 留学支援体制 本構想における取組 (構想調書からの転載)	①日本人学生の留学についての支援体制の構築【2ページ以内】	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※日本人学生の留学についての支援体制の構築全体で2ページ以内</p>		

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
1. 国際化関連 (3) 留学支援体制 ②外国人留学生等の支援体制の構築【2ページ以内】	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況 【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】 ※外国人留学生等の支援体制の構築全体で2ページ以内	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標										
1. 国際化関連 (4) 語学力関係 ① 外国語による授業科目数・割合【3ページ以内】										
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)			
	実績値		目標値		実績値	目標値				
外国語による授業科目数(A)	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目		
うち学部(B)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
うち大学院(C)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
英語による授業科目数(D)	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目		
うち学部	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
うち大学院	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
全授業科目数(E)	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目		
うち学部(F)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
うち大学院(G)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目		
割合(A/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %		
割合(B/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %		
割合(C/G)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %		
割合(D/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %		
<p>外国語及び英語による授業科目数と全授業科目数を記入する(語学としての授業を除く)。 なお、外国語(または英語)による授業科目とは、全授業を日本語ではなく外国語(または英語)で実施する授業科目とする。 また、同一の授業科目で複数セクションが設けられている場合は、それぞれ独立した授業科目として数に含める。</p>										
本構想における取組 (構想調書からの転載)			目標の達成状況と取組の進捗状況				左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)			
			【これまでの取組状況】							

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

	【これまでの取組における課題】	
--	-----------------	--

※外国語による授業科目数・割合全体で3ページ以内

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標

1. 国際化関連 (4) 語学力関係 ② 外国語のみで卒業できるコースの数等【4ページ以内】

	平成25年度 (H25.5.1)			平成26年度 (H26.5.1)			平成27年度 (H27.5.1)			平成28年度 (H28.5.1)			平成29年度 (H29.5.1)			平成31年度 (H31.5.1)			平成35年度 (H35.5.1)								
	実績値			実績値			実績値			実績値			実績値			実績値			目標値								
外国語のみで卒業できるコースの設置数 (A)	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%			
うち学部(B)	コース			コース			コース			コース			コース			コース			コース			コース					
うち大学院(C)	コース			コース			コース			コース			コース			コース			コース			コース					
全学位コースの設置数(D)	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%	0	コース	%
うち学部(E)	コース			コース			コース			コース			コース			コース			コース			コース					
うち大学院(F)	コース			コース			コース			コース			コース			コース			コース			コース					
割合(A/D)	#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%				
割合(B/E)	#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%				
割合(C/F)	#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%				
外国語のみで卒業できるコースの在籍者数(G)	0	人	%	0	人	%	0	人	%	0	人	%	0	人	%	0	人	%	0	人	%	0	人	%	0	人	%
うち学部(H)	人			人			人			人			人			人			人			人					
うち大学院(I)	人			人			人			人			人			人			人			人					
全学生数(J)	0	人	%	0	人	%	0	人	%	0	人	%	0	人	%	0	人	%	0	人	%	0	人	%	0	人	%
うち学部(K)	人			人			人			人			人			人			人			人					
うち大学院(L)	人			人			人			人			人			人			人			人					
割合(G/J)	#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%				
割合(H/K)	#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%				
割合(I/L)	#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%		#DIV/0!	%				

外国語のみで卒業できるコースの設置数、全学位コースの設置数、外国語のみで卒業できるコースの在籍者数及び全学生数を学部・大学院別に記入する。

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※外国語のみで卒業できるコースの数等全体で4ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
1. 国際化関連 (4) 語学力関係 ③日本語教育の充実【2ページ以内】	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況 【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; display: inline-block;"> ※日本語教育の充実全体で2ページ以内 </div>	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標										
1. 国際化関連 (4) 語学力関係 ④ 学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組【2ページ以内】										
1. 国際化関連 (4) 語学力関係 ④ 学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組										
外国語力基準	平成25年度 ()	平成26年度 ()	平成27年度 ()	平成28年度 ()	平成29年度 ()	平成31年度 ()	平成35年度 ()	目標値		
	実績値				実績値			目標値		
外国語力基準を満たす学生数(A)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち学部(B)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
うち大学院(C)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
全学生数(D)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち学部(E)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち大学院(F)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
割合(A/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(B/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(C/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
大学において定めた外国語力基準を記入するとともに、大学が定める時点において当該基準を満たす学生数、全学生数を学部・大学院別に記入する。										
本構想における取組 (構想調書からの転載)					目標の達成状況と取組の進捗状況					
左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)										
					【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】					
					※学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組全体で2ページ以内					

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標											
1. 国際化関連 (5) 教務システムの国際通用性 ①ナンバリング実施状況・割合【2ページ以内】											
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)			
	実績値			目標値	実績値	実績値	実績値	目標値			
ナンバリングを行っている授業科目数(A)	0	0	0	0	0	0	0	0			
うち学部(B)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目			
うち大学院(C)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目			
全授業科目数(D)	0	0	0	0	0	0	0	0			
うち学部(E)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目			
うち大学院(F)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目			
割合(A/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %			
割合(B/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %			
割合(C/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %			
ナンバリングを行っている授業科目数及び全授業科目数を学部・大学院別に記入する。											
本構想における取組 (構想調書からの転載)				目標の達成状況と取組の進捗状況				左記を踏まえたと今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)			
				【これまでの取組状況】							
				【これまでの取組における課題】							
				※ナンバリング実施状況・割合全体で2ページ以内							

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
1. 国際化関連 (5) 教務システムの国際通用性	②GPA導入状況【2ページ以内】	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況 【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ※GPA導入状況全体で2ページ以内 </div>	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標											
1. 国際化関連 (5) 教務システムの国際通用性 ③ シラバスの英語化の状況・割合【2ページ以内】											
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)			
	実績値			目標値	実績値	実績値	目標値	実績値			
シラバスを英語化している授業科目数(A)	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目			
うち学部(B)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目			
うち大学院(C)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目			
全授業科目数(D)	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目			
うち学部(E)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目			
うち大学院(F)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目			
割合(A/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %			
割合(B/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %			
割合(C/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %			
シラバスを英語化している授業科目数及び全授業科目数を学部・大学院別に記入する。 なお、同一の授業科目で複数セクションが設けられている場合、それぞれ独立した授業科目として数に含める。											
本構想における取組 (構想調書からの転載)				目標の達成状況と取組の進捗状況				左記を踏まえたと今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)			
				【これまでの取組状況】							
				【これまでの取組における課題】							
				※シラバスの英語化の状況・割合全体で2ページ以内							

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excelワークシートオブジェクト)

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
1. 国際化関連 (5) 教務システムの国際通用性	④教育プログラムの国際通用性と質保証【2ページ以内】	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況 【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】 ※教育プログラムの国際通用性と質保証全体で2ページ以内	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度 ①柔軟な学事歴の設定の有無【2ページ以内】		
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※柔軟な学事歴の設定の有無全体で2ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度 ②入試における国際バカロレアの活用【2ページ以内】	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況 【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ※入試における国際バカロレアの活用全体で2ページ以内 </div>	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度 ③渡日前入試、入学許可の実施等【2ページ以内】	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
<p>本構想における取組 (構想調書からの転載)</p>	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※渡日前入試、入学許可の実施等全体で2ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標									
1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度 ④ 奨学金支給の入学許可時の伝達【2ページ以内】									
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)			
	実績値		実績値		目標値		目標値		
外国人留学生への奨学金支給の入学許可時の伝達数(A)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
奨学金を取得した外国人留学生数(B)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
外国人留学生への奨学金支給の入学許可時の伝達数及び奨学金を取得した外国人留学生数を記入する。									
本構想における取組 (構想調書からの転載)				目標の達成状況と取組の進捗状況			左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)		
				【これまでの取組状況】					
				【これまでの取組における課題】					
				※奨学金支給の入学許可時の伝達全体で2ページ以内					

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標										
1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度 ⑤ 混住型学生宿舎の有無【2ページ以内】										
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)			
	実績値		実績値		実績値		目標値			
混住型学生宿舎に入居している外国人留学生数(A)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
留学生宿舎に入居している外国人留学生数(B)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
混住型宿舎に入居している日本人学生数(C)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
全日本人学生数(D)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
割合(C/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
混住型学生宿舎に入居している外国人留学生数、留学生宿舎に入居している外国人留学生数、混住型宿舎に入居している日本人学生数及び全日本人学生数を記入する。										
本構想における取組 (構想調書からの転載)					目標の達成状況と取組の進捗状況					左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
					【これまでの取組状況】					
					【これまでの取組における課題】					
					※混住型学生宿舎の有無全体で2ページ以内					

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度 ⑥海外拠点の数及び概要【2ページ以内】		
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※海外拠点の数及び概要全体で2ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度 ⑦外国人留学生OBの積極的活用【2ページ以内】		
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※外国人留学生OBの積極的活用全体で2ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
1. 国際化関連 (6) 大学の国際開放度 ⑧外国語による情報発信等【2ページ以内】	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況 【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; display: inline-block;"> ※外国語による情報発信等全体で2ページ以内 </div>	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標										
2. ガバナンス改革関連 (1) 人事システム ① 年俸制の導入【2ページ以内】										
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)		
	実績値		実績値		実績値		目標値			
年俸制適用人者(教員)数(A)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
全専任教員数(B)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	
年俸制適用人者(職員)数(C)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
全専任職員数(D)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
割合(C/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	
教員及び職員について、年俸制適用人者数(教員・職員別)、全専任教員数及び全専任職員数を記入する。										
本構想における取組 (構想調書からの転載)				目標の達成状況と取組の進捗状況				左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)		
【これまでの取組状況】				【これまでの取組における課題】				<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; color: red;"> ※年俸制の導入全体で2ページ以内 </div>		

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標										
2. ガバナンス改革関連 (1) 人事システム ②テニュアトラック制の導入【2ページ以内】										
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)			
	実績値	実績値	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値			
テニュアトラック対象者数(A)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
年間専任教員採用者数(B)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
テニュアトラック対象者数、一年間の専任教員採用者数を記入する。										
本構想における取組 (構想調書からの転載)				目標の達成状況と取組の進捗状況				左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)		
				【これまでの取組状況】						
				【これまでの取組における課題】						
				※テニュアトラック制の導入全体で2ページ以内						

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
2. ガバナンス改革関連 (1) 人事システム	③国際通用性を見据えた人事評価制度の導入・活用【2ページ以内】	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※国際通用性を見据えた人事評価制度の導入・活用全体で2ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
2. ガバナンス改革関連 (1) 人事システム	④国際通用性を見据えた採用と研修【2ページ以内】	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※国際通用性を見据えた採用と研修全体で2ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標												
2. ガバナンス改革関連 (2) ガバナンス ① 事務職員の高度化への取組【2ページ以内】												
外国語力基準	<div style="border: 1px dashed green; padding: 5px;"> 更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください (形式: Excelワークシートオブジェクト) </div>											
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)					
	実績値		実績値		実績値		目標値					
外国語力基準を満たす専任職員数(A)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	
全専任職員数(B)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	
大学において定めた外国語力基準を記入するとともに、当該基準を満たす専任職員数を記入する。												
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況				左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)							
	【これまでの取組状況】				【これまでの取組における課題】				※事務職員の高度化への取組全体で2ページ以内			

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
2. ガバナンス改革関連 (2) ガバナンス	②具体的ビジョン、中期計画等の策定【2ページ以内】	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況 【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; display: inline-block;"> ※具体的ビジョン、中期計画等の策定全体で2ページ以内 </div>	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
2. ガバナンス改革関連 (2) ガバナンス ③迅速な意思決定を実現する工夫【2ページ以内】	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】 ※迅速な意思決定を実現する工夫全体で2ページ以内	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標		
2. ガバナンス改革関連 (2) ガバナンス ④ 意思決定機関等への外国人の参画【2ページ以内】	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】 ※意思決定機関等への外国人の参画全体で2ページ以内	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標		
2. ガバナンス改革関連 (2) ガバナンス ⑤ I R機能の強化・充実【2ページ以内】		
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※ I R機能の強化・充実全体で2ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
3. 教育の改革的取組関連 (1) 教育の質的転換・主体的学習の確保 ①学生の実質的学びの時間の確保に関する取組【2ページ以内】	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)	
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※学生の実質的学びの時間の確保に関する取組全体で2ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標									
3. 教育の改革的取組関連 (1) 教育の質的転換・主体的学習の確保 ② 学生の主体的参加と大学運営への反映の促進【2ページ以内】									
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)	実績値		
	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	目標準	実績値	目標値
学生による授業評価実施授業科目数(A)	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目
うち学部(B)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
うち大学院(C)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
全授業科目数(D)	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目
うち学部(E)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
うち大学院(F)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
割合(A/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(B/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(C/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
<p>学生による授業評価実施科目数及び全授業科目数を学部・大学院別に記入する。 なお、同一の授業科目で複数セッションが設けられている場合、それぞれ独立した授業科目として数に含める。</p>									
本構想における取組 (構想調書からの転載)					目標の達成状況と取組の進捗状況				
					左記を踏まえたと今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)				
					【これまでの取組状況】				
					【これまでの取組における課題】				
					※学生の主体的参加と大学運営への反映の促進全体で2ページ以内				

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
3. 教育の改革的取組関連 (1) 教育の質的転換・主体的学習の確保 ③ T A 活用の実践【2 ページ以内】	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】 ※ T A 活用の実践全体で 2 ページ以内	

2. 目標の達成状況

① 共通の成果指標と達成目標									
3. 教育の改革的取組関連 (2) 入試改革 ① TOEFL 等外部試験の学部入試への活用【2ページ以内】									
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)		
	実績値		実績値		目標値	実績値	目標値		
対象学部入定員数(A)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
全入定員数(B)	人	人	人	人	人	人	人	人	人
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

TOEFL等外部試験による入定員数及び全入定員数を記入する。

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p style="color: red; border: 1px dashed red; padding: 2px;">※TOEFL 等外部試験の学部入試への活用全体で2ページ以内</p>		

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
3. 教育の改革的取組関連 (2) 入試改革 ②多面的入学者選抜の実施【2ページ以内】	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】 ※多面的入学者選抜の実施全体で2ページ以内	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
3. 教育の改革的取組関連 (3) 柔軟かつ多様なアカデミック・パス ①柔軟な転学科・転学部、Late Specialization等【2ページ以内】	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】	
	※柔軟な転学科・転学部、Late Specialization等 全体で2ページ以内	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
3. 教育の改革的取組関連 (3) 柔軟かつ多様なアカデミック・パス ②早期卒業・入学、5年一貫制課程等【2ページ以内】		
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
	<p>【これまでの取組状況】</p> <p>【これまでの取組における課題】</p> <p>※早期卒業・入学、5年一貫制課程等全体で2ページ以内</p>	

2. 目標の達成状況

①共通の成果指標と達成目標		
4. その他 (1) 教育情報の徹底した公表 【2 ページ以内】	目標の達成状況と取組の進捗状況	左記を踏まえた今後の展望 (発展的な構想の見直しの方向性を含む)
本構想における取組 (構想調書からの転載)	目標の達成状況と取組の進捗状況 【これまでの取組状況】 【これまでの取組における課題】 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; display: inline-block;"> ※教育情報の徹底した公表全体で2 ページ以内 </div>	

2. 目標の達成状況

②大学独自の成果指標と達成目標【6ページ以内】

<定量的>

	平成25年度 ()	平成26年度 ()	平成27年度 ()	平成28年度 ()		平成29年度 ()	平成31年度 ()	平成35年度 ()
	実績値		目標値		実績値	実績値	目標値	目標値
(指標1)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
(指標2)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)	
	実績値		目標値		実績値	目標値	目標値	
(指標3)	(回)	(回)	(回)	(回)	(回)	(回)	(回)	(回)
(指標4)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
(指標5)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)

更新した成果指標データ集の該当部分を貼り付け直してください
(形式: Excel ワークシートオブジェクト)

<定性的> (構想調書からの転載)

本構想における取組
(構想調書からの転載)

目標の達成状況と取組の進捗状況

左記を踏まえた今後の展望
(発展的な構想の見直しの方向性を含む)

【これまでの取組状況】

【これまでの取組における課題】

※大学独自の成果指標と達成目標全体で6ページ以内

3. 経費(補助金)の使用状況

構想調書及び実績報告書に基づき、平成26～28年度の経費の使用状況を記載する。

＜平成26年度＞【1ページ】				(単位:千円)
経費区分	補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
【物品費】	0	0	0	
①設備備品費	0	0	0	
・			0	
・			0	
②消耗品費				
・				
・				
【人件費・謝金】				
①人件費				
・				
・				
②謝金				
・				
・				
【旅費】	0	0	0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
【その他】	0	0	0	
①外注費	0	0	0	
・			0	
・			0	
②印刷製本費	0	0	0	
・			0	
・			0	
③会議費	0	0	0	
・			0	
・			0	
④通信運搬費	0	0	0	
・			0	
・			0	
⑤光熱水料				
・				
・				
⑥その他(諸経費)	0	0	0	
・返納			0	利息174円
・			0	
・			0	
【間接経費】(タイプAのみ)			0	
平成26年度 合計	0	0	0	

・「補助金額(①)」欄には補助事業に要した補助対象経費の額を、「大学負担額(②)」欄には、自己収入その他の金額を記入してください。
 ・平成26年度分及び平成27年度分は確定済みの額を記入し、平成28年度分は文部科学省に提出した実績報告書の額と一致するように記入してください。(ただし千円単位で記入し、合計が一致するよう端数を調整してください。)
 ・「支出実績(①+②)」欄には、「補助金額(①)」と「大学負担額(②)」の合計額を記入してください。
 ・各費目の内訳については、内容がある程度わかるように記入してください。
 ・黄色セル部分のみ記入してください。

・利息がある場合は、「[その他]⑥その他(諸経費)」の「備考」欄に実際の利息額を円単位で記入してください。

・返納がある場合は、「[その他]⑥その他(諸経費)」欄に記入してください。

＜参考＞構想調書上の事業規模(単位:千円)	補助金申請額 (a)	大学負担額 (b)	事業規模 (a+b)
			0

3. 経費(補助金)の使用状況

構想調書及び実績報告書に基づき、平成26～28年度の経費の使用状況を記載する。

＜平成27年度＞【1ページ】				(単位:千円)
経費区分	補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
【物品費】	0	0	0	
①設備備品費	0	0	0	
・			0	
・			0	
②消耗品費	0	0	0	
・			0	
・			0	
【人件費・謝金】	0	0	0	
①人件費	0	0	0	
・			0	
・			0	
②謝金	0	0	0	
・			0	
・			0	
【旅費】	0	0	0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
【その他】	0	0	0	
①外注費	0	0	0	
・			0	
・			0	
②印刷製本費	0	0	0	
・			0	
・			0	
③会議費	0	0	0	
・			0	
・			0	
④通信運搬費	0	0	0	
・			0	
・			0	
⑤光熱水料	0	0	0	
・			0	
・			0	
⑥その他(諸経費)	0	0	0	
・			0	
・			0	
【間接経費】(タイプAのみ)			0	
平成27年度 合計	0	0	0	

＜参考＞構想調書上の事業規模(単位:千円)	補助金申請額 (a)	大学負担額 (b)	事業規模 (a+b)
			0

3. 経費(補助金)の使用状況

構想調書及び実績報告書に基づき、平成26～28年度の経費の使用状況を記載する。

＜平成28年度＞【1ページ】				(単位:千円)
経費区分	補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
【物品費】	0	0	0	
①設備備品費	0	0	0	
・			0	
・			0	
・			0	
②消耗品費				
文部科学省に提出した実績報告書の額と一致するように記入してください。				
・			0	
・			0	
【人件費・謝金】	0	0	0	
①人件費	0	0	0	
・			0	
・			0	
・			0	
②謝金	0	0	0	
・			0	
・			0	
【旅費】	0	0	0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
・			0	
【その他】	0	0	0	
①外注費	0	0	0	
・			0	
・			0	
②印刷製本費	0	0	0	
・			0	
・			0	
③会議費	0	0	0	
・			0	
・			0	
④通信運搬費	0	0	0	
・			0	
・			0	
⑤光熱水料	0	0	0	
・			0	
・			0	
⑥その他(諸経費)	0	0	0	
・			0	
・			0	
・			0	
【間接経費】(タイプAのみ)			0	
平成28年度 合計	0	0	0	

＜参考＞構想調書上の事業規模(単位:千円)	補助金申請額 (a)	大学負担額 (b)	事業規模 (a+b)
			0

1. 国際化関連 (1) 多様性								
①教員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合								
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)	
	実績値				目標値	実績値		
外国人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち	人	人	人	人	人	人	人	人
うち	人	人	人	人	人	人	人	人
うち	人	人	人	人	人	人	人	人
の	人	人	人	人	人	人	人	人
うち	人	人	人	人	人	人	人	人
研究	人	人	人	人	人	人	人	人
全専	人	人	人	人	人	人	人	人
割	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!
外国	歴のある日本人教員について、それぞれの数と全専任教員数を記入する。							

・各指標の数値の定義については、記入要領及びQ&A(H28.6.16修正版)によることとします。
(<https://www.jsps.go.jp/j-sgu/download.html>)
・通年の各指標については、平成28年度実績値を記入してください。
・5月1日時点の各指標については、平成29年度の実績値を記入してください。
・数値については全て半角数字で記入してください。
・黄色セル部分のみ記入してください。

・緑色の枠で囲った部分をコピーし、目標の達成状況の該当部分に貼り付け直してください。(形式:Excelワークシートオブジェクト)

1. 国際化関連 (1) 多様性								
②職員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任職員等の割合								
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)	
	実績値				目標値	実績値	実績値	目標値
外国人職員等(A)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち外国籍職員	人	人	人	人	人	人	人	人
うち外国の大学で学位を取得した日本人職員	人	人	人	人	人	人	人	人
うち外国で通算1年以上の職務・研修経験のある日本人職員	人	人	人	人	人	人	人	人
全専任職員数(B)	人	人	人	人	人	人	人	人
割合(A/B)	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%
外国籍の職員、外国の大学で学位を取得した日本人職員、外国で1年以上の職務・研修経験のある日本人職員について、それぞれの数と全専任職員数を記入する。								

1. 国際化関連 (1) 多様性								
③教職員に占める女性の比率								
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)	
	実績値				目標値	実績値	実績値	目標値
女性教員(A)	人	人	人	人	人	人	人	人
全専任教員数(B)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
割合(A/B)	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%
女性職員(C)	人	人	人	人	人	人	人	人
全専任職員数(D)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
割合(C/D)	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%	#DIV/0!	0%
女性教員、女性職員の数を入力する。								

1. 国際化関連 (1) 多様性								
④ 全学生に占める外国人留学生の割合								
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
	実績値			目標値	実績値	実績値	目標値	
外国人留学生数(A) (うち女性)	0人	0人	0人	0人	0人 (0人)	0人 (0人)	0人	0人
うち在留資格が「留学」の者 (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人 (人)	人	人
うち在留資格が「留学」以外の者 (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人 (人)	人	人
全学生数(B)	0人	0人	0人	0人	0人 (人)	0人 (人)	0人	0人
割	注1) 外国人留学生数(A・C)には在日外国人は含まない。 注2) 全学生数(B・D)は学校基本調査の定義を引用(5月1日時点・非正規課程の学生を含む)。 注3) 女性の内数は平成28年度及び平成29年度の「実績値」欄にのみ記入。			0%	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
				平成28年度 (通年) 値	実績値	平成31年度 (通年) 目標値	平成35年度 (通年) 目標値	
外国人留学生数(C) (うち女性)	0人	0人	0人	0人	0人 (0人)	0人	0人	
うち在留資格が「留学」の者 (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人	人	
うち在留資格が「留学」以外の者 (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人	人	
全学生数(D) (うち女性)	0人	0人	0人	0人	0人 (0人)	0人	0人	
割合(C/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

外国人留学生のうち、在留資格が「留学」の数に加え、「留学」の在留資格を有さない短期留学生等の数を記入する。

1. 国際化関連 (2) 流動性							
① 日本人学生に占める留学経験者の割合							
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
	実績値			目標値	実績値	目標値	
単位取得を伴う海外留学経験者数(A) (うち女性)	0人	0人	0人	0人	0人 (0人)	0人	0人
うち学部(B) (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人	人
うち 全学生	注1) 単位取得を伴う海外留学経験者数(A)については、過去の経験は除き、当該年度に申請大学において単位認定された学生数を計上。 注2) 当該年度に同じ学生が複数回、単位取得を伴う留学を経験した場合であっても1人として計上。 注3) 全学生数(D)は学校基本調査の定義の全学生から外国人留学生と在日外国人を除いた数(5月1日時点・非正規課程の学生を含む)。 注4) 女性の内数は平成28年度の「実績値」欄にのみ記入。			人	人 (人)	人	人
うち 全学生				人	0人 (0人)	0人	0人
うち 全学生				人	人 (人)	人	人
うち 全学生				人	人 (人)	人	人
割合(A/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(B/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(C/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
教員の指導の下、3ヶ月以上研究派遣された大学院生数(G)	人	人	人	人	人	人	人
割合(G/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

全学生数と、日本国籍を保有し正規課程に在籍する学生で、且つ、単位取得を伴う留学を経験した学生の数を記入する。留学期間は問わない。また、大学院生について、教員の指導の下、3ヶ月以上の研究派遣された学生の数を記入する。単位取得の有無は問わない。

1. 国際化関連 (2) 流動性							
② 大学間協定に基づく交流数							
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
	実績値			目標値	実績値	目標値	
大学間協定に基づく派遣日本人学生数 (A) (うち女性)	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人 (0 人)	0 人	0 人
うち単位取得を伴う学部生数 (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人	人
うち単位取得を伴わない学部生数 (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人	人
うち単位取得を伴う大学院生数 (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人	人
うち単位取得を伴わない大学院生数 (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人	人
全学生数(B)	人	人	人	人	0 人 (0 人)	0 人	0 人
割合(B/A)	%	%	%	%	#DIV/0!	%	%
大学間協定に基づく派遣外国人学生数 (C) (うち女性)	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人 (0 人)	0 人	0 人
うち単位取得を伴う学部生数 (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人	人
うち単位取得を伴わない学部生数 (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人	人
うち単位取得を伴う大学院生数 (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人	人
うち単位取得を伴わない大学院生数 (うち女性)	人	人	人	人	人 (人)	人	人
全学生数(D) (うち女性)	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人 (0 人)	0 人	0 人
割合(C/D)	#DIV/0!	%	%	%	#DIV/0!	%	%

注1) 当該年度に同じ学生を複数回、派遣・受入した場合は延べ数で計上。
注2) 年度またぎの派遣・受入の場合はどちらの年度においても計上。その際、申請大学において単位認定された年度については「うち単位取得を伴う・・・」に、その他の年度については「うち単位取得を伴わない・・・」にそれぞれ計上。
注3) 日本人学生(A)の定義は、日本国籍を保有し申請大学の正規課程に在籍する学生。
注4) 全学生数(B・D)は学校基本調査の定義を引用(5月1日時点・非正規課程の学生を含む)。
注5) 女性の内数は平成28年度の「実績値」欄にのみ記入。

外国の大学との連携・交流協定に基づき交流する／した学生数を記入する。
また、日本人学生及び外国人留学生について、単位取得を伴う人数と、伴わない人数を学部生・大学院生別に記入する。

1. 国際化関連 (4) 語学力関係 ①外国語による授業科目数・割合							
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
	実績値			目標値	実績値	目標値	
外国語による授業科目数(A)	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目
うち学部(B)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
うち大学院	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
英語による授業科目数(C)	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目
うち学部(D)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
うち大学院	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
全授業科目数(E)	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目	0 科目
うち学部(F)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
うち大学院(G)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
割合(A/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(B/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(C/G)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(D/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

外国語及び英語による授業科目数と全授業科目数を記入する(語学としての授業を除く)。
 なお、外国語(または英語)による授業科目とは、全授業を日本語ではなく外国語(または英語)で実施する授業科目とする。
 また、同一の授業科目で複数セッションが設けられている場合は、それぞれ独立した授業科目として数に含める。

1. 国際化関連 (4) 語学力関係 ②外国語のみで卒業できるコースの数等								
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
	実績値			目標値	実績値	実績値	目標値	
外国語のみで卒業できるコースの設置数(A)	0 コース	0 コース	0 コース	0 コース	0 コース	0 コース	0 コース	0 コース
うち学部(B)	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
うち大学院(C)	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
全学位コースの設置数(D)	0 コース	0 コース	0 コース	0 コース	0 コース	0 コース	0 コース	0 コース
うち学部(E)	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
うち大学院(F)	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
割合(A/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(B/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(C/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
外国語のみで卒業できるコースの在籍者数(G)	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
うち学部(H)	人	人	人	人	人	人	人	人
うち大学院(I)	人	人	人	人	人	人	人	人
全学生数(J)	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
うち学部(K)	人	人	人	人	人	人	人	人
うち大学院(L)	人	人	人	人	人	人	人	人
割合(G/J)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(H/K)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(I/L)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

注)全学生数(J)は学校基本調査の定義を引用(5月1日時点・非正規課程の学生を含む)。

外国語のみで卒業できるコースの設置数、全学位コースの設置数、外国語のみで卒業できるコースの在籍者数及び全学生数を学部・大学院別に記入する。

1. 国際化関連 (4) 語学力関係 ④学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組								
外国語力基準	平成25年度 ()	平成26年度 ()	平成27年度 ()	平成28年度 ()		平成29年度 ()	平成31年度 ()	平成35年度 ()
	実績値			目標値	実績値	実績値	目標値	
外国語力基準を満たす学生数(A)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち学部(B)	人	人	人	人	人	人	人	人
うち大学院(C)	人	人	人	人	人	人	人	人
全学生	人	人	人	人	0人	0人	0人	0人
うち学	人	人	人	人	0人	0人	0人	0人
うち大	人	人	人	人	0人	0人	0人	0人
割合(A/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(B/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(C/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

注) 全学生数(J)は学校基本調査の定義を引用(5月1日時点・非正規課程の学生を含む)。

大学において定めた外国語力基準を記入するとともに、大学が定める時点において当該基準を満たす学生数、全学生数を学部・大学院別に記入す

1. 国際化関連 (5) 教務システムの国際通用性 ①ナンバリング実施状況・割合								
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
	実績値			目標値	実績値	実績値	目標値	
ナンバリングを行っている授業科目数(A)	0科目	0科目	0科目	0科目	0科目	0科目	0科目	0科目
うち学	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
うち大	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
全授業	科目	科目	科目	科目	0科目	0科目	0科目	0科目
うち学部(E)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
うち大学院(F)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
割合(A/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(B/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(C/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

注)
・5月1日時点
・複数セクション=1カウント
・語学としての授業を含む

ナンバリングを行っている授業科目数及び全授業科目数を学部・大学院別に記入する。

1. 国際化関連 (5) 教務システムの国際通用性 ③シラバスの英語化の状況・割合								
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
	実績値			目標値	実績値	実績値	目標値	
シラバスを英語化している授業科目数(A)	0科目	0科目	0科目	0科目	0科目	0科目	0科目	0科目
うち学	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
うち大	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
全授業	科目	科目	科目	科目	0科目	0科目	0科目	0科目
うち学部(E)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
うち大学院(F)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
割合(A/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(B/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(C/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

注)
・5月1日時点
・複数セクション=複数カウント
・語学としての授業を含む

シラバスを英語化している授業科目数及び全授業科目数を学部・大学院別に記入する。
なお、同一の授業科目で複数セクションが設けられている場合、それぞれ独立した授業科目として数に含める。

1. 国際化関連 (6)大学の国際開放度							
④奨学金支給の入学許可時の伝達							
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
	実績値			目標値	実績値	目標値	
外国人留学生への奨学金支給の入学許可時の伝達数(A)	人	人	人	人	人	人	人
奨学金を取得した外国人留学生数(B)	人	人	人	人	人	人	人
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

外国人留学生への奨学金支給の入学許可時の伝達数及び奨学金を取得した外国人留学生数を記入する。

1. 国際化関連 (6)大学の国際開放度								
⑤混住型学生宿舎の有無								
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
	実績値			目標値	実績値	実績値	目標値	
混住型留学生数(A)	人	人	人	人	人	人	人	人
留学生数(B)	人	人	人	人	人	人	人	人
割合	%	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
混住型宿舎に在籍する日本人学生数(C)	人	人	人	人	人	人	人	人
全日本人学生数(D)	人	人	人	人	人	人	人	人
割合(C/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

注) 日本人学生(C、D)の定義は、日本国籍を保有し申請大学の正規課程に在籍する学生。

混住型学生宿舎に入居している外国人留学生数、留学生宿舎に入居している外国人留学生数、混住型宿舎に入居している日本人学生数及び全日本人学生数を記入する。

2. ガバナンス改革関連 (1)人事システム								
①年俸制の導入								
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
	実績値			目標値	実績値	実績値	目標値	
年俸制適用者(教員)数(A)	人	人	人	人	人	人	人	人
全専任教員数(B)	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
年俸制適用者(職員)数(C)	人	人	人	人	人	人	人	人
全専任職員数(D)	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
割合(C/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

教員及び職員について、年俸制適用者数(教員・職員別)、全専任教員数及び全専任職員数を記入する。

2. ガバナンス改革関連 (1)人事システム							
②テニュアトラック制の導入							
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
	実績値			目標値	実績値	目標値	
テニュアトラック対象者数(A)	人	人	人	人	人	人	人
年間専任教員採用者数(B)	人	人	人	人	人	人	人
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

テニュアトラック対象者数、一年間の専任教員採用者数を記入する。

2. ガバナンス改革関連 (2)ガバナンス								
①事務職員の高度化への取組								
外国語力基準	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)		平成29年度 (H29.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
	実績値			目標値	実績値	実績値	目標値	
外国語力基準を満たす専任職員数(A)	人	人	人	人	人	人	人	人
全専任職員数(B)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

大学において定めた外国語力基準を記入するとともに、当該基準を満たす専任職員数を記入する。

3. 教育の改革的取組関連 (1)教育の質的転換・主体的学習の確保							
②学生の主体的参加と大学運営への反映の促進							
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
	実績値			目標値	実績値	目標値	
学生による授業評価実施授業科目数(A)	0科目	0科目	0科目	0科目	0科目	0科目	0科目
うち注)				科目	科目	科目	科目
うち				科目	科目	科目	科目
全授業				科目	0科目	0科目	0科目
うち学部(E)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
うち大学院(F)	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目
割合(A/D)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(B/E)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %
割合(C/F)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

学生による授業評価実施科目数及び全授業科目数を学部・大学院別に記入する。
なお、同一の授業科目で複数セクションが設けられている場合、それぞれ独立した授業科目として数に含める。

3. 教育の改革的取組関連 (2)入試改革							
①TOEFL等外部試験の学部入試への活用							
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
	実績値			目標値	実績値	目標値	
対象学部入学定員数(A)	人	人	人	人	人	人	人
全入学定員数(B)	人	人	人	人	人	人	人
割合(A/B)	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %	#DIV/0! %

TOEFL等外部試験による入学定員数及び全入学定員数を記入する。

大学独自の成果指標と達成目標								
<定量的>								
	平成25年度 ()	平成26年度 ()	平成27年度 ()	平成28年度 ()		平成29年度 ()	平成31年度 ()	平成35年度 ()
	実績値			目標値	実績値	実績値	目標値	
(指標1)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
(指標2)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)		平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)	
	実績値			目標値	実績値	目標値		
(指標3)	(回)	(回)	(回)	(回)	(回)	(回)	(回)	
(指標4)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
(指標5)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	